

楽しみ方

本の世界に入っていくように

物語の世界の住人になつたつもりで、または登場人物になつたような気持ちで本を読んでいる。初めは、想像しやすいように、さし絵の多い本もおすすめです。

私は、ページをめくるたびにワクワクするようなお話が大好きです。物語の展開を予想しながら読み進めるのも楽しいです。先が気になる本は出かける時に必ず持っていく、いつでも読書できるようにしています。

将来は小説家になりたいです！



6年
荻原 佳音さん
(三重・名張市立金剛)

こう選ぶ！

意外なタイトルが気になります

本を選ぶ時は、「え？どういう意味？」と思ってしまうような、意外なタイトルの本を手にとるようになっていきます。タイトルからストーリーを想像して読む面白いです。

以前、「赤毛のアン」など、世界の名作をプレゼントしてもらったことがあります。長い間、世界の人に読まれてきた作品は、とても読みごたえがある、有名作品を一度読んでみるの、いいと思います。

楽しみ方

たくさんの知識にふれる

ぼくが大好きなのは生き物の図鑑です。小説とか絵本とは、少しちがうかもしれないけど、たくさんの知識にふれることができます。こんど海の生き物など、見た目の面白さはもちろん、名前の由来とか、読んでいくだけで楽しくなります。

例えば「スベスベマンジュウゴン」っていうカニがいて、名前だけでも面白いですよね。図鑑の内容を覚えてしまおうと、くり返し読んでいます。

6年

細川 晴君
(香川・西讃郡)



友達から
こんど博士と
呼ばれます！

こう選ぶ！

好きな本に似ている本は、きっと好き

自分の好きな本からスタートして、似ているものを選んでいきます。こんど図鑑が好きだったばくは、海の生き物、は虫類、恐竜など、図鑑を通して興味のある分野を広げていきました。今では、宇宙の惑星や星座のことも詳しくなりました。

好きなジャンルに属するものから選べば、自分にとって読みやすい、どれもお気に入りの1冊になると思います。

4月23日から
5月12日は
「こどもの読書週間」



今年のゴールデンウィークは 本といっしょに過ごしませんか？



5月12日まで「こどもの読書週間」です。今回は、児童文学評論家の赤木かん子さんのインタビューや、おすすめの本とともに、読書好きなメンバーの声を紹介します。今年のゴールデンウィークは本を手にとって、その世界を楽しんでみませんか？

Q と中であきてしまいます

A 面白くなかったら、やめてもいいんです

読んでいて「つまらないな」と思ったら、やめてもいいんです。もちろん宿題は別ですが(笑)、何でも「ざせつ」していいので、面白くない本が見つかるまで、たくさん読んでみてください。

Q たくさん読むように
言われるとイヤになります

A 好きなジャンルだけでもOK!

自分の好きなことに関する本ばかりでもOKです。小学生の時に文字を自分で追うことをたくさん経験することが、大人になった時に役立ちます。図鑑が好きなら、図鑑ばかりでもいいんです。



写真：Neoki Hirabayashi
児童文学評論家
赤木かん子さん

あかぎ・かんこ 児童文学評論家。子どものころに読んでタイトルや作者名を忘れてしまった本を探し出す「本の探偵」としてデビュー。現在は図書館の改善活動にも取り組む。主な著書に「改訂版 読本学習の基礎の基礎」(ポプラ社)など。

「見たい!」「知りたい!」をはっきりしよう



本を読むと良いことが2つあります。1つは「考え方」を教えることです。インターネットではたくさんの情報が手に入りますが、その「使い方・考え方」は教えてくれません。たくさんある情報を整理して、まとめたのが本です。

何気なく借りた本でも、読むことで、書いた人の考え方を学んで、自分の生活にも役立てていけるんです。2つ目は自分のことが、よく

分かるようになります。本を読んでいると、多くの人物が登場します。その中には、自分と似ているけど、少しちがう人が出てくることもあります。自分とその人物と比べてみると、自分のことがよく分かるようになります。

家にいても、海外に行くことや、広い宇宙に飛び立つこともできるのが読書です。「見たい!」「知りたい!」という気持ちを感じようぞんぶん、はつきして、たくさん本を読んでみてくださいね。



Q どうしたら面白い本を見つけられますか？

A 表紙を見ていいなと思った本を手にとってみる

図書館や本屋に並んでいるたくさんの本の中で、表紙を見て「面白そう」と感じた本を手にとってみてください。大人の人向けのななを見てみることも、おすすめです。表紙がきれいな図鑑など、みんなも楽しめる本がきっと見つかります。

Q 同じ本ばかりでは
ダメですか？

A 何度も読み直すことはGOOD!

1冊の本を何度も読み返せば、1回目に気付かなかったことに気付くなど、より深く楽しめます。たくさんの種類を読む以上に、何回も読むことがおすすめです。

本がキレイなあなたに



『54字の物語』シリーズ

作 氏田雄介ほか
P・H・P研究所

1つの物語が54文字と短くてすぐに読めます。テーマが現代的で親しみやすいこともおすすめです。

旅する物語



『ドリトル先生のサーカス』

作 ビュー・ロフティン
訳 井伏鱒二 岩波書店

ドリトル先生が、サーカスに売られたアシカを助けて旅をする物語。ドキドキしながら読めます。

楽しい絵本



『ノラネコくん』シリーズ

著 土屋ノリコ
白泉社

8匹きのノラネコたちが大そうどうを起こす大人気シリーズ。かわいい絵も楽しめます。

いっしょに推理しながら



『めがねの名探偵』シリーズ

作 杉山亮
監 中川大輔 講談社

主人公の探偵・ミルキー杉山が難事件にいく。いっしょに事件の「カギ」を探してみよう!

読みごたえのある図鑑



『信じられない現実の大図鑑』

著 DK社
訳 増田まもる 東京書籍

「太陽の大きさをどれくらい?」などのスケールの大きな現実の話が分かりやすいイラストつきで書かれています。

『友達』について考えてみる



『ともだちってどんなひと?』

著 赤木かん子
絵 濱口瑛士 埼玉福祉会

赤木さんが「友達」について、やさしい言葉で書いた絵本です。心が温かくなる1冊です。

ちよつとでも気に入った本
読んでみてね! おすすめの本



『ギネス世界記録』(KADOKAWA)や『元東照親王』(92歳の元東でできている)『主婦の友社』もおすすめです。